

## △時局と幼稚園

(左に掲ぐるは、茨城縣古河町幼稚園長丸山義一氏より、今夏本會の安井幹事に宛てられた保育近況中の一節であります。因に同園では本年暑中休暇中夏の幼稚園を開いて居られたので、此の一節も其の時のことであります。)

八月廿四日。宣戰の布告有之候間、會集の際左のお話をいたし候。

これはどこのお國の旗ですか。

(我國旗を示して)

日の丸……日本の旗……。

健夫さん、これを持つてこゝへ來て立て居て下さい。

これはどこのお國の旗ですか。

(英吉利の國旗を示して)

……………(答なし)

これは英吉利の國旗ですよ。

イギリス……。(嬉こんで連呼せり)

憲ちゃんこれを持つてこゝへ立て居て下さい。

これはどこのお旗でしょうか。

(佛蘭西の國旗を示して)

しらない……。(こゝろにてつぶやけり)

これは佛蘭西の國旗です。

フランス……。(くりかへせり)

喜代子さんこゝへ來てこれを持つて居て下さい。

これはどこのお旗でしょうか。

(露西亞の國旗を示して)

……………(答なし)

これは露西亞の國旗ですよ。

ロシヤ……。(氣のなさそうにくりかへせり)

友ちゃんこれを持つて居て下さい。

(日、英、佛、露の國旗を集めて)

さーお旗を持たお手を高くあげて旗竿を組んで

下さい、さうよく組めました、組んで處を左

手で握り上下に軽く動かしながら。

この四ツのお國、日本、英吉利、佛蘭西、露西

亞は仲の好い御親類のお國なの……。

さうしたらこゝにあるお旗、これは獨逸の國旗です。

(交狹せし同盟國旗の下部に突き出し)

この獨逸が日本と御親類の國々と戦争を始めましたの。

日本ではいつでもお手傳ひしますよと云ふお約束を英吉利としてありますから、日本も今日から獨逸と戦争をすることになりました。

この前に日本は露西亞と戦争をしましたね。

え……(承知し居る意を明かに表示せり)

その時ロシアはこれからは仲を好くして喧嘩などはしますまいネと申しましたから日本ではそれなら戦争をやめてこれからは仲を好くしましょうネと、かんにんしてあげて従来までより一層仲が好くなりましたの。

こんども獨逸がもう戦争などはよしましょうと云ひましたらかんにんしてあげて一層仲好く遊んであげましょうネ。一日も早く戦争がおやめにな

つて獨逸が日本や英吉利や佛蘭西や露西亞と仲好く遊ぶようにしたいものですネ。これからは毎日戦争のお話をしてあげますから、夜は早くねんねをして朝早く起きておはようをしてお飯を澤山たべていつてまゐりますと幼稚園に來て元氣好く遊んで兵隊さんのようにつよくなるのですよ。

英吉利では子供の小さい兵隊さんがありまして學校のお休みには集まつてお一二お一二とお稽古をして戦争の時は兵隊さんのお使をしたりいろいろお手傳ひをして居ります。さあ皆さんもまげなように。

『霞か雲か……』を合唱しましょう(ドンブラコの終りの一節)……。了り。

園兒は各國の國旗を識別いたし候。

歸宅して家庭に於てお話をくりかへして話なせし園兒もありと……僕は忘れないうちにお話するんだとすぐお話にとりかゝり親御を嬉こばせし園兒もありし由に候。